

下柚野地区で竹林整備活動

富士宮地区労福協

ホールアース自然学校が協力



伐採に励む参加者

富士宮地区労働者福

祉協議会(飯室憲一

長)は18日、NPO法

人ホールアース自然

校の協力の下、下柚

地区竹林整備活動を行

所の近くに害獣が隠れ

る場所となったりす

る。同協議会はそれら

をを防ぐため、昨年から

竹林の整備活動を展

開

同日は約20人が参加。まずホールアースの松尾彰史さんが竹林について説明。竹林は畑のように人が作ったとし、「人が育てたものだから管理しなければ荒れる」と整備の重要性を訴えた。作業は3班に分かれて実施。職員の指導の下、ロープを竹に引っかけ倒す方向を決め、「上良し、足場良し、周囲良し」と声掛け確認をした後、のこぎりで伐採を開始。最も枯れやすいという

1.5mくらいの長さに伐採する作業を繰り返した。倒した竹はホールアースとの協議の下、再利用を検討している。作業後はホールアース自然学校でバーベキューを楽しみ、飲食を通して参加者同士の親睦を深めた。